

ICT活用し言語活動充実

「よく考え、表現できる生徒の育成」へ

教科超え 授業の進め方共有

や社会、理科など③実
技系の教科1の3分科
なものの開発を目指
会を立ち上げた。IC
す。今後、全教科など
T機器の活用を含め、
でワークシートを作る
生徒が主体的に活動す
る言語活動を用いた授
業の進め方などを出し
合って共有している。
また、全ての教師が
参加して行う集合的な
研修も実施する。その
部分もある。そのため、
本年度は情報交換がで
きる場を設定。堀米研
究主任は「教科に限ら
ず、横軸でつながるよ
うな共通して使えるI
CTの活用法を考えて
いく」と意気込む。

各教科・領域などで言語活動
を充実させようと、東京都文京
区立第六中学校（不破裕子校長、
生徒332人）ではツールの一
つとしてICT機器を活用して
いる。目指すところは、「よく
考え、表現できる生徒の育成」。

東京・文京区立第六中

教科の特性などを踏まえ、ICT
T機器がどう有効的なのか。そ
れを模索しながら、（公財）パ
ナソニック教育財団の特別研究
指定校として実践事例集の作成
にも取り組んでいく。

実践事例集を作成

全ての普通教室にあ
る常設のプロジェクタ
ー付きの電子黒板。写
真や図などを分かりや
すく提示するなど、全
ての教員が授業でタブ
レット端末などのICT
T機器をうまく使いこ
なす。平成25年11月か



教師一人一人がICT機器を使いこなす

研究室の堀米哲教諭。
学校の実態も踏まえ、
生徒たちの思考力を高
めることに主眼を置く
ことになった。
授業では、書く、話す
など、さまざまな言語
活動に取り組んでい
る。その中でICT機
器をうまく組み合わせ
ることで、不破校長は
「自ら進んで考え、表現
できる生徒をさらに育
ていきたい」と話す。

ワークシート開発も

教師一人一人がきち
んと授業力を身に付け
ると授業の環境になっ
た。今後ICT機
器の効果的な活用を
模索していく。言語活
動を一つの手だてに、
表現力や思考力の育成
にさらに取り組む。



ICTの活用法など、
情報交換の場を設けた

「活動を見直したり、
比べたりするなど、教
育的效果の高いところ
に着目した」と話す研

中学校

現在、区内中学校
が同じようなICT機
器の環境になったとい
う。機器活用のヒント
になるような実践事例
集を、教科ごとに作成
していく計画だ。
生徒たちの考えや思
考を高める上で、同校
でキーワードの一つに
なっているのはワーク
シート。1枚の紙の中
で、自らの思考の深ま

りが跡付けられるよう
なものの開発を目指
す。今後、全教科など
でワークシートを作る
際、一つの考え方を持
たせるなどの工夫も凝
らしたいという。
第六中 〇〇〇三・三
814・6666